

ずっと続く医療・繋がるケア セントラル訪問診療通信

Vol. **16**

今号のTOPIC！

1周年を迎えて

2020年9月に訪問診療がスタートし、1年が経過しました。高齢者の入院医療機関として、50年以上の経験があるものの、はじめての試みに、何をどうしていいか？という状況からのスタートでした。皆様のお力添えで1年を迎えられたことを実感しております。



セントラル病院
在宅総合センター長・五味医師

もう1年かというより、**まだ1年???**
と看護師さんと思わず一緒に言葉が出たほど、
「あっという間」という表現がピッタリくる
「駆け抜けた1年」でした。

実際に患者さん・ご家族様とふれあい、ひとりひとり・各ご家庭ごとに事情も違うので、それぞれにあわせて考え、対策を立ててきました。ケアマネさんや訪問看護師さんをはじめ、いろんな方に助けていただいていることも日々痛感しています。まだまだわからないことばかりですが、これからもどうぞよろしくお願い致します。

セントラル病院 在宅総合センター 本院：渋谷区松濤2-18-1
03-3467-5131 (平日9:00-17:00)

Q：セントラル病院の訪問診療の特徴は？

A：やはり**バックベッド**があることです。
在宅でのケアはご家族の負担も大きいので、
たまに休憩できることは大切になります。
事前手続きが簡素化できること、
入院中も訪問診療の医師と情報共有できることも
特徴の1つです。
訪問診療のチームに**褥瘡や巻き爪**を診察できる
先生もいるのでとても心強いです。

Q：この1年でとくに思い出に残ってることは？

A：病棟の経験と違う視点も必要になってくるので、
どれもこれもよく覚えています。
1年前にスタートしたときはスタッフと一緒に
自転車に乗ってご挨拶まわりに行ったことから
始まり、患者さん・ご家族の笑顔、悩みを共有した
こと、「よかったね」と言い合えたことも財産です。

Q：今後の目標は？

A：スタッフを増やして、在宅総合センターをより一層
充実させていかれたらいいなと思っています。
1年経験したとは言え、まだまだ知らないこと、
勉強していくことが多くあります。
患者様・ご家族様にとって、1日1日が大切なように、
私たちも日々努力していきたいと思います。